

の発生からみて一応終息したのではないかと考えています。

しかしながら、今後の発生に十分注意をする必要があると思います。

水稲におけるカメムシ類による斑点米の発生は、淡路島では、三原町、津名町といった早期栽培水稲と普通期栽培水稲の混在するところや、それに加えて花栽培の複合経営が行なわれている所に被害がでるということに注意する必要があります。

ミナミアオカメムシが津名町に侵入し、加害を認めた作物は、イネ、カーネーションの蕾、キンセンカ子実、スターチス等であり、イネでの被害は、玄米中の斑点米混入率で30%を越すほ場もみられ(昭和49年津名町佐野)米質検査に出すことすらできない状況であった。カーネーションでも蕾の吸汁により開花しなかった花もでた。又キンセンカ種子生産においても、不稔種子が多発した。

## 編 集 後 記

▽ 遅くなりましたが '77年度の2号目をお届けします。

▽ 先日、建設中の柏原山林道を登ってみて、破壊の凄まじさを目の当たりにしました。島の各地で、このような自然破壊が、着実に進行しています。一日も早く島のFaunaを明らかにしたいものです。(T)

### P A R N A S S I U S No.18

1978年1月30日 印刷

1978年2月2日 発行

編集者 登 日 邦 明

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235  
登 日 方

振替 神戸49591

印刷所 れいめい社

〒656 洲本市本町5丁目1番24号